



2018/6/1 厚生館保育園

さわやかな5月も終わり、そろそろ梅雨の季節がやってきますね。

梅雨時は、じめじめした蒸し暑い日があるかと思えば、ひんやりと肌寒い日もあります。梅雨の晴れ間には、真夏のような日差しが照りつけて、気温が急上昇することも・・・。

天気や気温の変化に対応しきれず、体調を崩すお子さんもいます。規則正しい生活を心がけこの梅雨を乗り切りましょう。

・・・5月に流行した感染症・・・

感染性胃腸炎…1名 アデノウイルス感染症…1名 突発性発疹…1名 りんご病…1名
溶連菌感染症…2名

感染症サーベイランスによると、都内でも溶連菌感染症は少なからず出ているようです。りんご病は、頬の赤みや手足の発疹が出現した時には感染力が消失していますが、風邪症状が出た時から感染が始まっていますので、次から次へと感染が広がる恐れはあります。妊婦が感染すると稀に流産や胎児水腫になることがありますので、マスクを着用しての来園をお願いします。

6月は歯の衛生週間

知っていましたか？「歯」は、からだ全体の健康に関係しています。

歯（口）の健康に気をつけていると、むし歯や歯肉炎、歯周病を予防できるだけではなく、糖尿病や脳血管の病気の予防につながっていることもわかってきています。このことから乳児のうちから歯磨きを習慣づけていくことが大切です。

「歯」は、どのくらいかたい？

地球上で一番かたい天然の物質は、ダイヤモンドです。ダイヤモンドのかたさを10とすると…

歯のエナメル質 → 6～7

歯の象牙質 → 5～6

くらいです。

鉄は4、金は2なので、歯は鉄よりかたいんです。

口の中には、こんな働きがあります。

●酸の中和

唾液には、歯を溶かす酸の効果を弱めるはたらきがあります。唾液がたくさん出る人は、むし歯になりにくいといわれています。

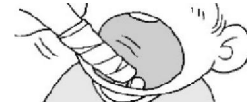


●再石灰化

唾液は、一度溶けてしまった歯を、もとの状態に戻そうとする再石灰化というはたらきがあります。

歯みがきはいつ頃から？…まずは、ガーゼで歯みがきに慣れましょう！

歯が生えて間もないころは、ブラッシングしようとしても、口の中に物が入ると抵抗したり、歯肉をこっすてしまったりして、うまくいかないことがあります。まずは、口の中に物を入れることに慣れさせましょう！無理やり口をこじ開けて、歯を磨くのではなく、歌を歌いながら楽しく磨けるといいですね。乳児のうちは膝の上に寝かせ、磨く歯の歯肉に指を当て「ここね」と予告するようにやさしくブラッシングをしてあげるとよいでしょう。口の中に歯ブラシが入ることが苦手な子もいますので、無理はせずはじめは、指にガーゼを巻きつけて、歯や口の中を拭くだけでもかまいません。



仕上げは必ず保護者の方がするようにしましょう。

歯の表面についたプラーク（細菌の塊）を取り除くことと、歯をみがくことは違います。子どもは、プラークを除去できるほど、手先を器用に動かすことはできず、子ども自身による歯みがきは、むし歯予防と言う観点からは十分ではありません。小学校3年生ぐらいまでは、保護者の方に歯みがきの仕上げをお願いいたします。

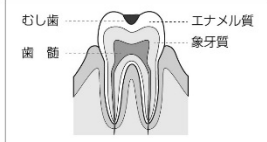


★★★上級

むし歯の状態を理解しよう！

むし歯とは、むし歯菌のつくり出す酸が、歯を溶かすことをいいます。

<C1>



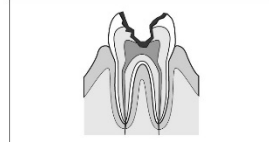
むし歯のつくる酸でエナメル質が溶けています。

<C2>



象牙質まで溶けてしまいました。

<C3>



歯の神経のところまで溶けてしまいました。

6月保健行事

- 1日（金）地域身体測定
- 5日（火）身体測定（2～5才児）
- 7日（木）身体測定（0,1才児）
- 8日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 12日（火）歯科健診（3～5才児）
- 13日（水）歯科健診（0～2才児）
- 15日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 18日（月）地域健診・全園児健診
- 22日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

